

愛媛大学医学部支援基金

～未来の医療の芽を育むために～

ご寄附のお願い

EHIME UNIVERSITY
SCHOOL OF MEDICINE



学びを高め
社会に還元するために。

愛媛大学医学部支援基金の目的及び使途

この基金を利用し、医学部の学生、研究者、医療従事者に優れた教育・研究・医療環境を提供し、医学医療の進歩に一層の貢献をしていきます。

目
的
・
使
途

医療人育成のための環境整備

医学研究の支援

先端医療の推進

ご寄附単位

■ 個人1口 1,000 円

■ 法人1口 10,000 円

本基金の趣旨をご理解いただき、複数口を目安として、おいくらかでもありたくお受けいたします。

また、土地、建物によるご寄附、遺贈によるご寄附等をお考えの方はお問合せ先へご相談ください。

ご支援への感謝の声を紹介します。

皆様からのご寄附により、医師国家試験に向けた模試を受験する機会をいただきました。模試は本番同様の緊張感の中で自分の実力を確かめられる貴重な機会であり、規則正しい学習習慣を身に付け、苦手分野を把握する上でとても役立っています。

また、令和8年2月に実施された第120回医師国家試験では、国家試験対策委員として試験会場に同行し、受験した先輩方のサポートを務めました。皆様のご寄附により万全のサポート体制を整えることができ、先輩方が試験に集中できる環境をつくることができましたと感じています。これまでいただいたご支援を力に変え、将来は愛媛の医療に貢献できる医師を目指して、残りの学生生活を精一杯歩んでいきたいと思いをします。



医学部医学科 6年

医学部支援基金を通じて「病院で教育を担当する看護師のための看護教育プログラム」の奨学金のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。大学院での学びを通じて、臨床で教育を担う看護師に必要な教育的視点と実践力を体系的に深めることができます。

今後は病院でそれぞれの看護師のニーズに沿った学習を行うためのプログラムを構築し、根拠に基づく指導と評価を定着させたいと考えています。また、看護の現場の課題を研究として可視化し、教育の質の向上と看護師の成長支援につなげ、患者ケアの向上への還元を目指します。



医学系研究科看護学専攻
修士課程2年 木村 晃基

ご厚志に対する謝意

ご寄附いただいた皆様には、お礼状の送付をはじめ、ご芳名の愛媛大学医学部支援基金ホームページ等への掲載によりご厚志に対する感謝の意を表し、末永く本学部の歴史に刻まさせていただきます。

お願い

ご寄附いただいた方のご芳名を愛媛大学医学部支援基金ホームページや広報誌等に掲載させていただいておりますが、寄附のお申し込みの際に、掲載の可否についてご選択いただけますようお願いいたします。

寄附金のお申し込み方法

1. 金融機関等にてお振り込みいただく場合

申込書を兼ねた専用の振込用紙をご利用ください。振込用紙は、**病院総合案内**または**医学部研究協力課**に設置しておりますので、その旨をお申し出ください。

2. クレジットカード等でホームページ内「寄附フォーム」からご寄附いただく場合

愛媛大学医学部支援基金ホームページにアクセスいただき、「寄附フォーム(右記の二次元コード)」からご寄附いただけます。



税法上の優遇措置

【個人からのご寄附】

2,000円を超える部分について、当該年所得の40%を限度に所得控除対象となります。別途お送りする寄附金領収書を、控除証明書としてご利用下さい。(確定申告によりお手続きください。)
所得税確定申告対象は、1月1日から12月31日までの寄附金額となります。

所得合計額の40%または寄附金額のいずれか少ない方の額 $-$ 2,000 円 $=$ 寄附金控除額 (所得控除)

【法人からのご寄附】

ご寄附は税務上、全額損金に算入可能です。

※ 所得税控除制度の詳細については、愛媛大学医学部支援基金ホームページでご確認ください。

【優遇措置を受ける手続き】

- ご入金確認後、「寄附金領収書」等とお礼状を送付させていただきます。
- 本学が発行した「寄附金領収書」等は、税制上の優遇措置を受けるために必要です。確定申告まで大切に保管してください。
- 確定申告期間に、本学が発行した「寄附金領収書」等を添えて税務署に申告してください。住民税の寄附金税額控除のみを受ける場合は、お住まいの市区町村に申告をお願いいたします。

愛媛大学医学部支援基金
ホームページ

愛媛大学医学部支援基金

検索

お問合せ先

愛媛大学医学部研究協力課 〒791-0295 愛媛県東温市志津川454

TEL (089)960-5944

FAX (089)960-5961

愛媛大学医学部へのご支援のお願い



愛媛大学医学部長
竹中 克斗



愛媛大学医学部附属病院長
羽藤 直人

愛媛大学医学部は、高度な医療の普及を目指して全国に設置された新設医学部の第一号として、1973年に設立されました。基本理念である「患者から学び、患者に還元する教育・研究・医療」のもと、患者から学ぶ真摯な態度と教育・研究・医療の成果を患者に還元する優れた能力を併せ持った医療人の育成に努めています。これまでに医師と看護師を併せて6千名を超える人材を輩出しており、卒業生は今や全国各地で医学・医療のリーダーとして活躍するとともに、地域の医療を支えています。

一方、2004年に国立大学が法人化して以降、大学の財政は年々厳しくなっており、優れた教育、研究、医療環境を構築するには、国からの補助金、学費収入、附属病院の医療収入だけでは十分ではありません。

そこで、2016年に、医療人育成のための環境整備、医学研究の支援、先端医療の推進等を目的とした「愛媛大学医学部支援基金」を創設しました。この基金を活用して、医学部の学生や研究者や医療従事者等に優れた教育・研究・医療環境を提供し、医学医療の進歩に一層の貢献をしていきたいと考えています。

皆様には、この趣旨を御理解いただき、基金への御寄附を心よりお願い申し上げます。

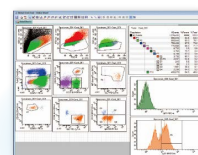


地域の医療を
支えていきたい。

ハイブリッド
手術室



手術支援ロボット
「hinotori(ヒノトリ)」
サージカルロボットシステム



細胞解析データの例



フローサイトメーターを用いた細胞解析

医療人育成のための環境整備

【活用事例】

- ・奨学支援、奨学金制度の設立と表彰
- ・海外派遣、研修、留学支援
- ・図書購入資金、学習資料の支援
- ・施設整備、実習実験機器の充実 等

医学研究の支援

【活用事例】

- ・学内競争的資金制度の設立と支援
- ・基礎研究の支援
(学生対象事業「医科学研究」の支援)
- ・医学研究施設の整備 等

先端医療の推進

【活用事例】

- ・先進医療の開発支援
- ・医療機器の新規導入及び更新支援
- ・新たな手術手技修得支援
- ・産学連携による医療機器開発支援 等